



平成 27 年 9 月 10 日

各 位

会 社 名 サンリン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 柳澤 勝久  
( J A S D A Q ・ コード 7486 )  
問合せ先  
役職・氏名 常務取締役管理本部長 大槻 清人  
電話 0263-97-3030

(訂正)「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 26 年 2 月 7 日に開示いたしました「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日（平成 27 年 9 月 10 日）付「平成 28 年 3 月期 第 1 四半期決算短信及び過年度に係る決算短信等（訂正版）の公表について」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 サンリン株式会社

コード番号 7486 URL http://www.sanrinkk.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤 勝久

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 大槻 清人 TEL 0263-97-3030

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	25,046	5.6	639	32.5	723	19.5	401	22.0
25年3月期第3四半期	23,716	13.1	482	△2.2	605	1.6	328	25.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 509百万円(87.8%) 25年3月期第3四半期 271百万円(54.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	32.71	-
25年3月期第3四半期	26.87	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	24,409	14,620	59.8
25年3月期	22,556	14,303	63.3

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 14,592百万円 25年3月期 14,275百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	18.00	18.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	3.3	1,000	13.0	1,150	7.2	600	5.0	48.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	12,300,000株	25年3月期	12,300,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	16,424株	25年3月期	59,914株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	12,271,211株	25年3月期3Q	12,240,126株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法の基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全国的には引き続き「アベノミクス」効果による回復基調となり、また2020年にオリンピック東京開催が決定する等明るさの見える話題も重なり、日経平均株価も上昇基調となって推移いたしました。当社グループの主な営業エリアである長野県では、製造業の海外移転等の影響もあり、直ちに景気回復を実感できるような状況には至っておりません。

当社グループの主要事業でありますエネルギー業界におきましては、太陽光など再生可能エネルギー発電設備の設置が促進されておりますが、ベース電源構想としての原子力発電再稼働問題等、国のエネルギー政策についてはなお注視して行く必要があります。

このような状況のもと、当社グループは従来より提案してまいりました「エネルギーのベストミックス」により、LPガス・石油類・太陽光発電等お客様の実情に即したトータルな提案営業を積極的に行い、エネルギー利用の高効率化を推進する一方、徹底したコスト削減や適正利益の確保に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、燃料類の仕入価格上昇に即して販売価格を適正に設定したこと及び家庭用・産業用太陽光発電設備の販売等が堅調に推移したことから売上高は25,046百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。

利益面におきましては、エネルギー関連事業においては、仕入価格の変動に応じた適正な販売価格の設定や、家庭用・産業用太陽光発電設備の販売及び自家発電設備の稼働が順調に推移したこと等が寄与し売上総利益が増加したこと、青果事業において利益改善が図られたこと、経費面ではLPガス安全確保機器の一層の設置促進に伴う費用の増加はあったものの、退職給付費用及び貸倒引当金繰入額の減少を含め経費の有効活用等により利益の確保に努めたことから、営業利益は639百万円（前年同四半期比32.5%増）、経常利益は723百万円（前年同四半期比19.5%増）となりました。税金費用298百万円を控除した四半期純利益は401百万円（前年同四半期比22.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比1,852百万円増加し、24,409百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少482百万円及び受取手形及び売掛金の増加1,037百万円および投資有価証券の増加1,183百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比1,535百万円増加し9,788百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金1,370百万円、長期借入金426百万円の増加、賞与引当金の減少185百万円等によるものであります。

純資産は、当期純利益の計上等により前連結会計年度末比316百万円増加し、14,620百万円となりました。この結果、自己資本比率は59.8%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、取扱商品の性質上、季節的変動が大きい灯油及びLPガス等のエネルギー関連事業の第3・第4四半期に占めるウェイトが高く、また、為替や原油価格の動向、燃料類の仕入価格や気候の変動等、当社グループの売上高及び利益面における価格及び数量に対し不確定な要素を含むため、現時点では平成25年5月9日発表時の通期業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,857	4,375
受取手形及び売掛金	<u>3,981</u>	<u>5,018</u>
商品及び製品	<u>1,351</u>	<u>1,686</u>
仕掛品	11	56
原材料及び貯蔵品	222	227
繰延税金資産	<u>143</u>	60
その他	191	164
貸倒引当金	<u>△13</u>	△11
流動資産合計	<u>10,746</u>	<u>11,578</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,180	8,354
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,459	△6,579
建物及び構築物(純額)	<u>1,721</u>	<u>1,775</u>
機械装置及び運搬具	4,366	4,416
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,726	△3,766
機械装置及び運搬具(純額)	<u>640</u>	<u>649</u>
工具、器具及び備品	2,424	2,487
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,113	△2,146
工具、器具及び備品(純額)	<u>311</u>	<u>341</u>
土地	5,761	5,714
建設仮勘定	94	48
有形固定資産合計	<u>8,529</u>	<u>8,531</u>
無形固定資産		
その他	224	182
無形固定資産合計	<u>224</u>	<u>182</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	2,412	3,596
繰延税金資産	269	197
差入保証金	248	192
その他	<u>246</u>	<u>278</u>
貸倒引当金	<u>△120</u>	<u>△147</u>
投資その他の資産合計	<u>3,056</u>	<u>4,117</u>
固定資産合計	<u>11,810</u>	<u>12,830</u>
資産合計	<u>22,556</u>	<u>24,409</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,705	4,076
短期借入金	3,033	2,965
1年内返済予定の長期借入金	79	136
未払法人税等	128	25
賞与引当金	239	54
その他	610	669
流動負債合計	6,798	7,927
固定負債		
長期借入金	123	550
繰延税金負債	68	77
退職給付引当金	917	864
役員退職慰労引当金	142	161
資産除去債務	23	23
その他	179	184
固定負債合計	1,455	1,861
負債合計	8,253	9,788
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,512	1,512
資本剰余金	1,248	1,245
利益剰余金	11,425	11,605
自己株式	△40	△8
株主資本合計	14,146	14,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129	236
その他の包括利益累計額合計	129	236
少数株主持分	27	27
純資産合計	14,303	14,620
負債純資産合計	22,556	24,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	23,716	25,046
売上原価	18,797	20,075
売上総利益	4,919	4,970
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,362	1,350
賞与	194	215
退職給付費用	134	18
役員退職慰労引当金繰入額	28	20
その他の人件費	481	461
賞与引当金繰入額	64	45
貸倒引当金繰入額	34	△0
消耗品費	349	444
減価償却費	344	347
その他	1,442	1,428
販売費及び一般管理費合計	4,436	4,330
営業利益	482	639
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	28	29
受取賃貸料	17	17
持分法による投資利益	15	14
保険解約返戻金	29	—
その他	65	69
営業外収益合計	161	136
営業外費用		
支払利息	20	17
貸倒引当金繰入額	13	30
その他	5	5
営業外費用合計	38	53
経常利益	605	723
特別利益		
固定資産売却益	6	10
補助金収入	28	24
保険差益	81	0
特別利益合計	117	36
特別損失		
固定資産売却損	11	1
固定資産除却損	21	6
減損損失	29	25
災害による損失	6	—
投資有価証券評価損	11	1
固定資産圧縮損	24	24
特別損失合計	107	59
税金等調整前四半期純利益	615	700
法人税等	285	298
少数株主損益調整前四半期純利益	329	401
少数株主利益	0	0
四半期純利益	328	401

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>329</u>	<u>401</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	101
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	6
その他の包括利益合計	<u>△58</u>	<u>107</u>
四半期包括利益	<u>271</u>	<u>509</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>271</u>	<u>509</u>
少数株主に係る四半期包括利益	<u>0</u>	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(訂正前)



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕 (連結)

平成26年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 サンリン株式会社  
コード番号 7486 URL <http://www.sanrinkk.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤 勝久  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 大槻 清人 TEL 0263-97-3030  
四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	25,081	5.7	648	35.8	762	24.2	437	28.9
25年3月期第3四半期	23,731	13.1	477	△3.0	613	2.0	339	26.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 545百万円 (93.6%) 25年3月期第3四半期 281百万円 (55.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	35.62	-
25年3月期第3四半期	27.70	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	24,460	14,681	59.9
25年3月期	22,577	14,328	63.3

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 14,653百万円 25年3月期 14,300百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	18.00	18.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期 (予想)	-	-	-	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	3.2	1,000	18.7	1,150	8.8	600	2.7	48.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	12,300,000株	25年3月期	12,300,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	16,424株	25年3月期	59,914株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	12,271,211株	25年3月期3Q	12,240,126株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法の基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全国的には引き続き「アベノミクス」効果による回復基調となり、また2020年にオリンピック東京開催が決定する等明るさの見える話題も重なり、日経平均株価も上昇基調となって推移いたしました。当社グループの主な営業エリアである長野県では、製造業の海外移転等の影響もあり、直ちに景気回復を実感できるような状況には至っておりません。

当社グループの主要事業でありますエネルギー業界におきましては、太陽光など再生可能エネルギー発電設備の設置が促進されておりますが、ベース電源構想としての原子力発電再稼働問題等、国のエネルギー政策についてはなお注視して行く必要があります。

このような状況のもと、当社グループは従来より提案してまいりました「エネルギーのベストミックス」により、LPガス・石油類・太陽光発電等お客様の実情に即したトータルな提案営業を積極的に行い、エネルギー利用の高効率化を推進する一方、徹底したコスト削減や適正利益の確保に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、燃料類の仕入価格上昇に即して販売価格を適正に設定したこと及び家庭用・産業用太陽光発電設備の販売等が堅調に推移したことから売上高は25,081百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

利益面におきましては、エネルギー関連事業においては、仕入価格の変動に応じた適正な販売価格の設定や、家庭用・産業用太陽光発電設備の販売及び自家発電設備の稼働が順調に推移したこと等が寄与し売上総利益が増加したこと、青果事業において利益改善が図られたこと、経費面ではLPガス安全確保機器の一層の設置促進に伴う費用の増加はあったものの、退職給付費用及び貸倒引当金繰入額の減少を含め経費の有効活用等により利益の確保に努めたことから、営業利益は648百万円（前年同四半期比35.8%増）、経常利益は762百万円（前年同四半期比24.2%増）となりました。税金費用301百万円を控除した四半期純利益は437百万円（前年同四半期比28.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比1,883百万円増加し、24,460百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少482百万円及び受取手形及び売掛金の増加1,035百万円および投資有価証券の増加1,183百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比1,530百万円増加し9,779百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金1,369百万円、長期借入金426百万円の増加、賞与引当金の減少185百万円等によるものであります。

純資産は、当期純利益の計上等により前連結会計年度末比352百万円増加し、14,681百万円となりました。この結果、自己資本比率は59.9%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、取扱商品の性質上、季節的変動が大きい灯油及びLPガス等のエネルギー関連事業の第3・第4四半期に占めるウェイトが高く、また、為替や原油価格の動向、燃料類の仕入価格や気候の変動等、当社グループの売上高及び利益面における価格及び数量に対し不確定な要素を含むため、現時点では平成25年5月9日発表時の通期業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,857	4,375
受取手形及び売掛金	<u>3,990</u>	<u>5,026</u>
商品及び製品	<u>1,371</u>	<u>1,731</u>
仕掛品	11	56
原材料及び貯蔵品	222	227
繰延税金資産	<u>148</u>	60
その他	191	164
貸倒引当金	<u>△27</u>	△11
流動資産合計	<u>10,767</u>	<u>11,630</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,180	8,354
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,459	△6,579
建物及び構築物(純額)	<u>1,721</u>	<u>1,775</u>
機械装置及び運搬具	4,366	4,416
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,726	△3,766
機械装置及び運搬具(純額)	<u>640</u>	<u>649</u>
工具、器具及び備品	2,424	2,487
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,113	△2,146
工具、器具及び備品(純額)	<u>311</u>	<u>341</u>
土地	5,761	5,714
建設仮勘定	94	48
有形固定資産合計	<u>8,529</u>	<u>8,531</u>
無形固定資産		
その他	224	182
無形固定資産合計	<u>224</u>	<u>182</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	2,412	3,596
繰延税金資産	269	197
差入保証金	248	192
その他	<u>206</u>	<u>207</u>
貸倒引当金	<u>△81</u>	<u>△77</u>
投資その他の資産合計	<u>3,056</u>	<u>4,117</u>
固定資産合計	<u>11,810</u>	<u>12,830</u>
資産合計	<u>22,577</u>	<u>24,460</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,706	4,076
短期借入金	3,033	2,965
1年内返済予定の長期借入金	79	136
未払法人税等	124	18
賞与引当金	239	54
その他	609	666
流動負債合計	<u>6,794</u>	<u>7,918</u>
固定負債		
長期借入金	123	550
繰延税金負債	68	77
退職給付引当金	917	864
役員退職慰労引当金	142	161
資産除去債務	23	23
その他	179	184
固定負債合計	<u>1,455</u>	<u>1,861</u>
負債合計	<u>8,249</u>	<u>9,779</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,512	1,512
資本剰余金	1,248	1,245
利益剰余金	11,450	11,666
自己株式	△40	△8
株主資本合計	<u>14,171</u>	<u>14,416</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129	236
その他の包括利益累計額合計	<u>129</u>	<u>236</u>
少数株主持分	27	27
純資産合計	<u>14,328</u>	<u>14,681</u>
負債純資産合計	<u>22,577</u>	<u>24,460</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	23,731	25,081
売上原価	18,816	20,114
売上総利益	4,915	4,967
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,362	1,350
賞与	194	215
退職給付費用	134	18
役員退職慰労引当金繰入額	28	20
その他の人件費	481	461
賞与引当金繰入額	64	45
貸倒引当金繰入額	34	△15
消耗品費	350	446
減価償却費	344	347
その他	1,442	1,428
販売費及び一般管理費合計	4,437	4,319
営業利益	477	648
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	28	29
受取賃貸料	17	17
持分法による投資利益	15	14
保険解約返戻金	29	—
その他	65	69
営業外収益合計	161	136
営業外費用		
支払利息	20	17
その他	5	5
営業外費用合計	25	22
経常利益	613	762
特別利益		
固定資産売却益	6	10
補助金収入	28	24
保険差益	81	0
特別利益合計	117	36
特別損失		
固定資産売却損	11	1
固定資産除却損	21	6
減損損失	29	25
災害による損失	6	—
投資有価証券評価損	11	1
固定資産圧縮損	24	24
特別損失合計	107	59
税金等調整前四半期純利益	623	738
法人税等	283	301
少数株主損益調整前四半期純利益	339	437
少数株主利益	0	0
四半期純利益	339	437

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>339</u>	<u>437</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	101
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	6
その他の包括利益合計	<u>△58</u>	<u>107</u>
四半期包括利益	<u>281</u>	<u>545</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>281</u>	<u>544</u>
少数株主に係る四半期包括利益	<u>△0</u>	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。